

世界が進むチカラになる

MUFG^⑬

挑戦
する企業

本館機能を集約
三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)は2024年度に東京・丸の内の中野三軒茶屋に本館の建て替えに着手する。傘下の三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の本館機能を1棟に集約。MUFG社長の亀沢宏規は「グループの社員同士が会社を超えてつながり、

新本館建設、若手も参加

自発的な企業風土に変革

協働するカルチャーの下で自発的に挑戦するMUFGの象徴となる」と話す。この建て替えプロジェクトに3社の20〜30代の若手社員らが参画した。亀沢は「(MUFGの象

徴となる場所は) トップや誰かから与えられるだけでは育まれない」と社員参加型にした狙いを語る。22年度に3社の社員計19人が参加した第1期ワークショップグループ(Wキンググループ)は他社オフィスの見

学、役員や有識者との意見交換を実施。プロジェクトのコンセプト、1階広場・開放スペースの活用方法を策定した。第2期WGは24年4月に開始し、オフィスフロアや食堂の活用方法を議論する。動き始めた。23年6月に東京都西東京市の福利厚生施設を刷新し、地域住民との交流の場とした「MUFG PARK」を一般開放した。

「グループをまたいだMUFGとして顧客ニーズに総合的に応えられる体制を築く。社会、顧客と共創しながら共に社会基盤を作っていく」と、亀沢肝いりの一連の施策の狙いを説明する。デジタル化が進展し業

種間の垣根も下がる中、金融業界をめぐる環境も大きく変化した。鯛は「銀行が顧客との取引の中で得た情報を一元的に持ちながらファイナンス機能だけを提供する時代は1期WGでは他社オフィス見学も行った」



「グループをまたいだMUFGとして顧客ニーズに総合的に応えられる体制を築く。社会、顧客と共創しながら共に社会基盤を作っていく」と、亀沢肝いりの一連の施策の狙いを説明する。デジタル化が進展し業

種間の垣根も下がる中、金融業界をめぐる環境も大きく変化した。鯛は「銀行が顧客との取引の中で得た情報を一元的に持ちながらファイナンス機能だけを提供する時代は1期WGでは他社オフィス見学も行った」

種間の垣根も下がる中、金融業界をめぐる環境も大きく変化した。鯛は「銀行が顧客との取引の中で得た情報を一元的に持ちながらファイナンス機能だけを提供する時代は1期WGでは他社オフィス見学も行った」

種間の垣根も下がる中、金融業界をめぐる環境も大きく変化した。鯛は「銀行が顧客との取引の中で得た情報を一元的に持ちながらファイナンス機能だけを提供する時代は1期WGでは他社オフィス見学も行った」

種間の垣根も下がる中、金融業界をめぐる環境も大きく変化した。鯛は「銀行が顧客との取引の中で得た情報を一元的に持ちながらファイナンス機能だけを提供する時代は1期WGでは他社オフィス見学も行った」